

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻と茶が主体の山間農業地域、特に、茶は国営造成農地を中心に産地を形成
- 担い手の減少や販売価格の低迷が続く中、担い手への一層の農地集積や生産の効率化を図り生産・出荷体制を強化する必要がある地区

【支援内容・背景】

- 担い手の茶栽培面積の増加に対応して、生産・出荷に係る作業時間・経費等の増加が課題であり、作業等の効率化に向けた取組を支援する必要がある。
- 助成対象者は地区内で大規模茶経営を営む者であり、てん茶工場を増設し、茶栽培面積を拡大。地域の農地を借り受け、さらなる面積拡大を志向しており、併せて経営の合理化や研修生の受け入れも行っている。このため、地区における茶大規模経営の生産力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(株)大和園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成27年
- ・法人設立(株式会社)
- ・農業経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 茶栽培面積の増加を図るためには、生産・出荷に係る作業等の効率化が必要。生産・出荷の課題解消に向け、収穫及び製品梱包作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈H30年度〉

- 売上高 190百万円
- 付加価値額 22百万円
- 経営面積 10.64ha

《事業による整備内容》

- 乗用摘採機 1台
事業費 6,372千円
(国費 2,950千円)
- トラック用・軽トラック用コンテナ 各1台
事業費 1,900千円
(国費 880千円)
- 梱包機 1台
事業費 2,313千円
(国費 1,071千円)



【現在の経営状況】
〈R3年度〉

- 売上高 160百万円
- 付加価値額 54百万円(246%)
- 経営面積 16.22ha (152%)

事業の
効果

《対象者》 生産・出荷の効率化が図られたことで、茶栽培面積の拡大が実現し、付加価値額の増加を実現。

《地区》 茶生産・出荷体制の強化が図られたことにより、地域の農地の受け皿となる安定した経営が可能な大規模茶経営モデルが確立。